

高等学校 特別活動学習指導案

- | | | |
|---|---|------|
| 1 題材名 「在り方生き方教育」
2 題材について
3 題材の目標
4 題材の評価規準
5 題材の指導と評価の計画 | } | (省略) |
|---|---|------|

6 本時の学習指導 (本時 1 / 1)

(1) 目標

- ・ヤングケアラーの特徴や実態を踏まえた上で、「人間としてどう在るべきか」「人間としてどう生きたいか」を主体的に考え、自分の言葉で説明できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】

<ヤングケアラーの扱いについて>

本題材では、高校生が他者や社会に関心を寄せ、様々な人生観・価値観に触れながら、自分の価値観を構築していく中で自分自身の在り方や生き方について考えていくことをねらいとしている。

ヤングケアラーの中には、家族の世話をするという義務感や責任感から自分自身の気持ちを後回しにしている者、勉強や遊びの時間などを他の同年代と同じように享受したいと思いつつも苦しんでいる者がいる。そして、誰もが突然そのような状況になる可能性がある。

そこで、本時の授業ではヤングケアラーが増加している社会的要因を整理し、ヤングケアラーの特徴や実態について理解を深める。その上で、ヤングケアラーとしてどう生きるか、ヤングケアラーの友達とどう関わるか、社会はヤングケアラーに対して何をすべきか、3つの立場から考えさせる。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点 (・) 評価規準 (◇) <評価の観点> (評価方法)
導入 7分	1 動画を視聴する。 2 本時の課題を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省作成の【30秒版】「子どもが子どもでいられる街に。～ヤングケアラーって、知っていますか?～」を視聴し、関心を向けさせる。 ・本時の学習内容に加え、在り方生き方教育とヤングケアラーの関係性について説明し、授業の方向性を示す。
課題 ヤングケアラーに対する理解を深めることを通して「人間としての在り方や生き方」について考えよう。		

<p>展開 38分</p>	<p>3 ヤングケアラーとは何か知る。 ＜STEP1＞</p> <p>4 社会の変化とヤングケアラーについて考える。＜STEP2＞</p> <p>5 ヤングケアラーの実態について知る。 ＜STEP3＞</p> <p>6 ヤングケアラーを支える仕組みについて理解する。</p> <p>7 授業の内容を踏まえ、人間としての在り方生き方について自分の考えを書く。 ＜STEP4＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラーの定義やケアの内容に加え、ヤングケアラーの実態は様々であること、家族をケアするのが悪いわけではないこと、ケアによって子ども自身が苦しんでいるのが問題であることを丁寧に説明する。 ・少子高齢化や共働き世帯の増加が、ヤングケアラーが生まれる背景になっていることを2つの資料から引き出す。その他、核家族の増加をはじめとする社会の様相の変化については簡単に説明する。 ・『ヤングケアラーってなに?』を配布し、p. 3～5の内容を抜粋して生徒と一緒に読む。その際、重要だと感じる場所には線を引かせる。 ・架空の話から具体的なケアの内容や深刻さを考えさせ、自分にケアを行う自信があるか数字で記入させる。その際、事故や病気などを理由に誰もが突然ヤングケアラーになる可能性があることを気づかせ、生徒が当事者意識をもって活動に取り組むことができるように支援する。 ・『ヤングケアラーってなに?』の p. 8～11の内容を抜粋して生徒と一緒に読む。その際、重要だと感じる場所には線を引かせる。 ・周囲の生徒と記入した内容について共有させる。 ・実際にヤングケアラーの生徒がいることが想定されるので、ヤングケアラーは個人の問題ではなく、社会全体で支えていく必要があるというメッセージを教員から発信する。 ・「あなたがヤングケアラーになったら、どのように生きていくか。」「あなたの友達がヤングケアラーであると相談してきた時、あなたはどうか。」「あなたは社会に対して、どのようなヤングケアラーへの支援を求めるか。」の中から1つ選ばせ、記入させる。 ・記入している内容に正解はなく、自分の言葉で考えを記入することが重要だと伝える。記入後に共有の時間があることを伝えておく。
-------------------	--	--

		◇ ヤングケアラーに関する学習を踏まえた上で、人間としてどう在るべきか生きるべきか、自分の言葉で説明している。 <思考・判断・表現> (ワークシート)
まとめ 5分	8 本時のまとめをする。	・周囲の生徒と記入した内容について共有させ、本時のまとめとする。

ヤングケアラーを知る

ヤングケアラーに対する理解を深めることを通して、「人間としてどう在るべきか」「人間としてどう生きていくべきか」を主体的に考え、自分の言葉で説明できるようにする。

STEP 1 ヤングケアラーとは何か — 資料 p.2

○ ヤングケアラーとは
本来大人がすると想定されているようなケアを日常的に行っている
() 歳未満の若者のことを指す。

Q.1 ケアに該当する場合は○を、該当しない場合は×を書きなさい。



()

病気や障害がある家族に代わり、家事をしている



()

家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



()

心が不安定な家族の話聞いている



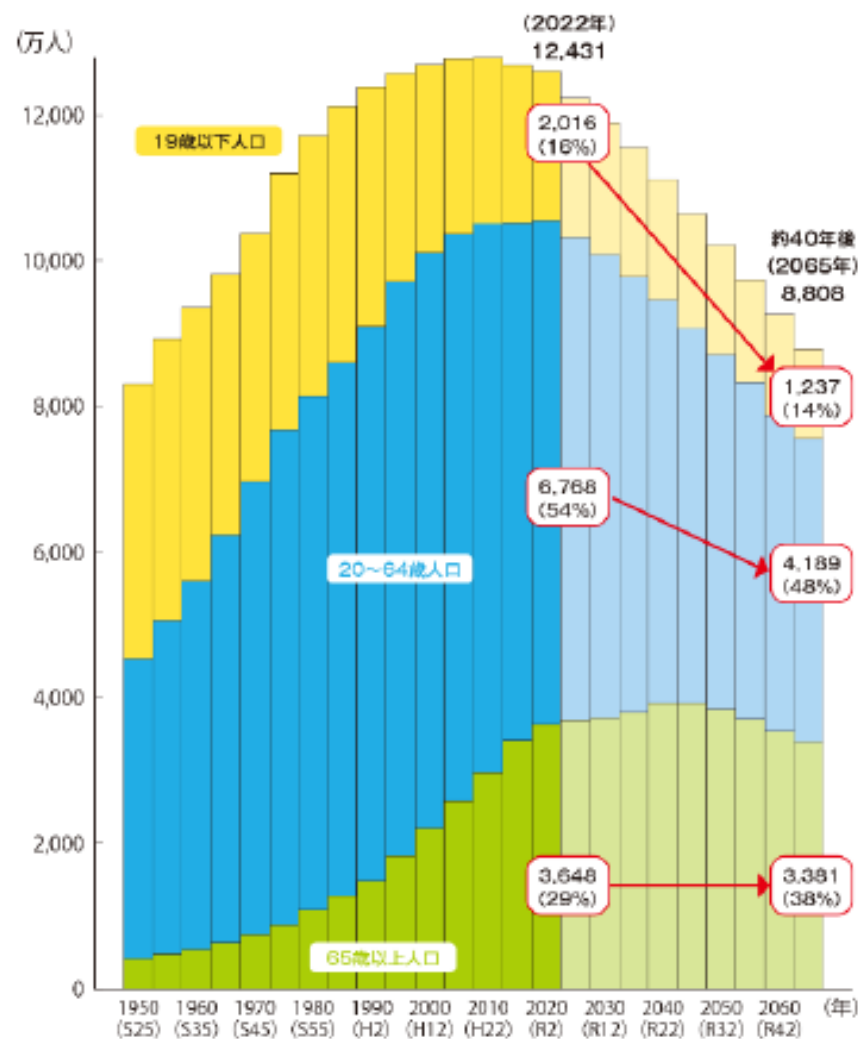
()

家計のために働いて、病気や障害のある家族を助けている

Memo

STEP 2 社会の変化とヤングケアラー

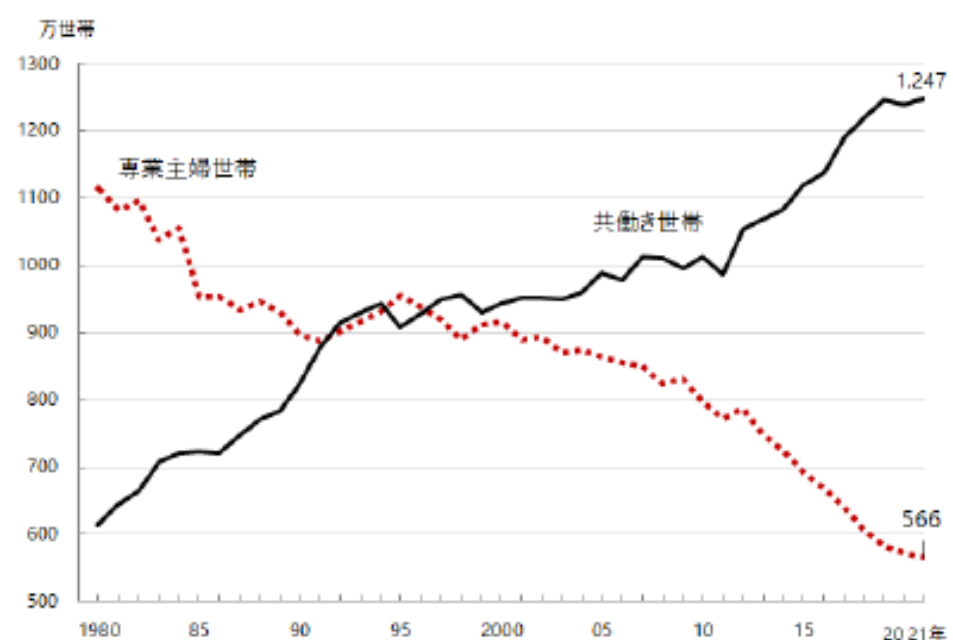
Q.2 近年、ヤングケアラーが増加している理由は何だろうか、2つの資料を参考にして考えなさい。



(出所) 総務省「国勢調査」、【人口集計】、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年4月推計）」(出生中位・死亡中位仮定)

【財務省】参考資料1 日本の少子高齢化はどのように進んでいるのか

あなたの考え



【労働政策研究・研修機構】図12 専業主婦世帯と共働き世帯

STEP 3

ヤングケアラーの実態

— 資料 p.3 ~ 5

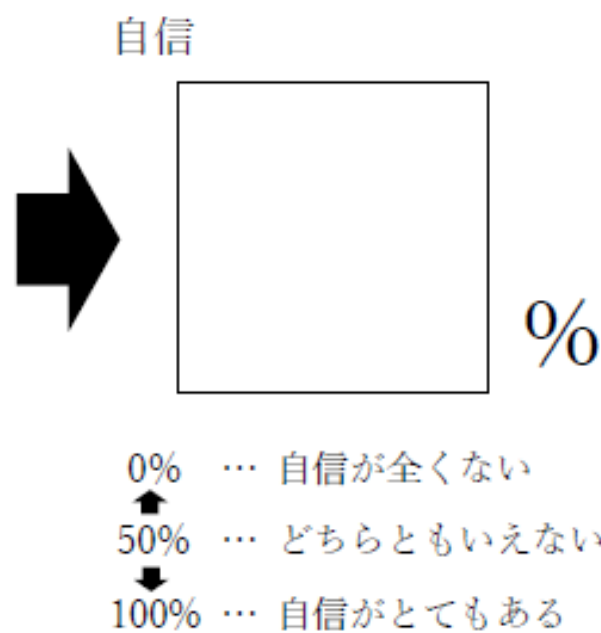
Q.3 高校生の A さんは父親、母親、小学生 6 年生の弟、4 歳の妹の 5 人家族である。母親が 1 年前に難病を発症し、介護が必要になった。父親は家計を支えるため、朝早くから夜遅くまで働いて、家にいる時間がとても少ない状況である。A さんが実際に行うケアにはどのようなものがあるか、可能な限り書き出さないさい。
 また、それらのケアをあなたは行うことができるか。自信の度合いを割合で記入さないさい。

※ これは架空の話です。

Memo

あなたの考え

(例) 夕食の買い物、洗濯



※ ヤングケアラーを支える様々な仕組み

— 資料 p.8 ~ 11

STEP 4

さいごに

今日の授業を振り返って、以下の中から 1 つ選び、あなたの考えを 100 字程度で書きなさい。

- ① あなたがヤングケアラーになったら、どのように生きていくか。
- ② あなたの友達がヤングケアラーであることを相談してきた時、あなたはどうするか。
- ③ あなたは社会に対して、どのようなヤングケアラーへの支援を求めるか。

選んだ数字 ()

120 字 (20 字 × 6 行)